

年 月 日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2010年4月30日】

団体名

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

赤十字子供の家ネットワークシステム構築事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

赤十字子供の家は虐待や親の病気などで親元を離れ暮さなければならない児童の暮らす児童養護施設です。これらの児童の養育にあたり、全職員が統一的な対応を行うため、それぞれの児童の情報を共有化する必要があり、パソコンのネットワーク化を図り、情報の共有化と情報の一括管理を行うため個々に行われていたパソコン管理をハード面・ソフト面でシステムの構築を図る。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

赤十字子供の家ネットワークシステムは、①各部署のスケジュール管理 ②子供の養育にとって必要な事務書類や資料管理 ③児童養育に関わる処遇観察記録等のデータ管理の3つの部門に分けてシステムを成り立たせ、①～③までで必要なソフトウェアがあれば、積極的に取り入れながら構築する。施設全体の情報の共有化をするための交通管理的な役割と個々でばらばらに行われ、まとめられた児童情報や職員の行動情報をシステム構築することにより、一元管理できるものとする。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

個々のパソコンで各々が作成していた書類(フォーマット等)を一元化し、統一する過程に時間がかかりましたが、施設として同じ書式に統一、管理することが出来るようにすることで児童の情報共有、様々な資料、報告書の作成がスムーズになりました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

統一した書式にするにあたり、各職員、居室ごとに特色がありその特色を壊すことなく取り入れながら、誰が取り扱ってもすぐに扱うことが出来る様にシステムを構築することは大変でしたが、個々の児童の情報を共有することが出来るようになり、書類作成、記録の記入に割いていた時間を子供達に向けることが出来るようになったと思います。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし